

平成30年度

全国学力・学習状況調査の結果分析と考察

草加市教育委員会

平成30年10月

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果分析と考察

草加市教育委員会

平成30年度全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析して、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るため、国が実施しているものです。

草加市教育委員会では、この調査結果を把握・分析し、成果と課題を検証することによって、教育施策の改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立て、児童生徒一人ひとりの学力向上に取り組んでまいります。

I 調査の概要

1 調査の対象

- (1) 小学校 21校 第6学年 2,081人
- (2) 中学校 11校 第3学年 1,981人

2 調査の内容（児童生徒に対する調査）

- (1) 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
 - ・主として「知識」に関する問題（国語A 算数A 数学A）
 - ・主として「活用」に関する問題（国語B 算数B 数学B）
 - ・理科は「知識」「活用」の別なし
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3 調査実施日

平成30年4月17日（火）

II 結果分析と考察

1 結果概況（IV資料 国語11～15ページ、算数・数学20～24ページ、理科31～33ページ）

小学校・中学校ともに、全体として全国及び埼玉県の平均正答率を下回っておりますが、今年度は、小学校が全国及び埼玉県との平均正答率の差を大きく縮めました。しかし、中学校では一部の項目において、昨年度よりも平均正答率が上がったものの、全体的には全国及び埼玉県との平均正答率の差が開きました。

国語については、「登場人物の心情について、情景描写を基に捉えること」や「文章の展開に即して登場人物の心情などを理解すること」などに課題が見られます。

算数・数学については、「示された考えを解釈し、条件を変更した場合について考察した数量の関係を、表現法を適用して言葉と数を用いて記述すること」や「不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる」などに課題が見られます。

理科については、「乾電池のつなぎ方を変えると、電流の向きが変わることを実際の回路に適用できる」ことや、「地震の仕組みやP波S波の関係や湿度と気温の関係についての理解」について課題がみられます。

2 領域別の課題と手立て

各教科の領域別の指導が必要な項目及び授業改善の主なポイントは以下のとおりです。

(1) 小学校国語 (IV資料 16・17ページ)

【話すこと・聞くこと】

互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合うことに課題が見られます。話し合い活動の場を多く経験することに加えて、話し合いを振り返る場を設定することが重要です。また、司会者や提案者、参加者などの役割に基づいて、立場や意図を明確にしながら計画的に話し合うことや、自分の考えと比べ、共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理し、自分の考えをまとめることができるように指導することが求められます。

【書くこと】

目的や意図に応じ、文章全体の構成や表現を工夫して、文章を書くことに課題が見られます。必要な情報を集め、得た情報を適切に関係付けて書くことができるように指導するとともに、他のものと比較した際に、他の事物にはないよさを書くことで、読者をより強く引き付けているということを具体的に捉え、比較して書くことの効果を実感することができるように指導することが求められます。

【読むこと】

登場人物の心情について、情景描写を基に捉えることに課題が見られます。情景描写に着目し、複数の叙述と関係付け、暗示的に表現されている登場人物の心情を捉えて読むことや同じ作者や同じ題材の作品を比べて読むようにして、児童が自分で優れた叙述に気付いていくことができるように工夫することが求められます。

また、伝記を読んで、心に残ったことについて自分の考えをまとめることに課題が見られます。目的に応じた適切な伝記を選んで読んだり、複数の伝記を比べて読んだりさせるとともに、選んだ一文に最も心がひかれた理由を明確にしていく中で、人物の生き方や考え方を捉えて読むことができるように指導することが求められます。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことに課題が見られます。主語と述語との関係については、表現するときだけでなく、文章を読むときにも強く意識できるように指導するとともに、各学習とも関連を図り、児童が自分で書いた文や文章を、主語と述語との関係に注意しながら、丁寧に読み返していく習慣を付けさせることが求められます。

(2) 中学校国語 (IV資料 18・19ページ)

【話すこと・聞くこと】

話し合いの話題や方向について、「何について、どんな目的で話し合っているのか」を常に意識し、正確に捉え、的確に話すことに課題が見られます。授業では、話の展開に沿って、自分の考えと比較しながら聞き、賛成・反対などの判断をしていく活動を設定することが重要です。相手の意見の主張や根拠、反応などに注意し、話の要点を捉え、互いの発言を検討し、別の立場や視点から考えることを通して、自分の考えを広げる指導を充実することが求められます。

【書くこと】

本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題が見られます。授業では、文章の構成に着目し、意見と根拠を明確にした、分かりやすく説得力

のある文章を書く活動を設定したり、書いた文章を互いに読み合い、評価し合う指導を充実したりすることが求められます。

【読むこと】

文章の展開に即して登場人物の心情などを理解することに課題が見られます。また、文章から内容を的確に読み取ることに課題が見られます。授業では、場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、心情や内容を捉えたり、文章のどの部分に着目し、どのような事柄を基にして内容を理解したり、想像を広げたりしたのかなど、本文中の根拠を明確にして説明するなどの指導を充実することが求められます。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことや、楷書や行書など様々な文字の形に注意して書くことに課題が見られます。文語のきまりを知り、古文や漢文を音読したりして、内容に親しむことや、ノートや掲示物などを書く際に書写で学んだことを活用したりする指導を充実することが求められます。

(3) 小学校算数（IV資料 25・26ページ）

【数と計算】

1に当たる大きさを求める問題場面において、除数が1より小さい小数である場合でも除法を用いることなど、除法の性質などについての理解に課題が見られます。授業では、イメージしにくいことをできる限りイメージしやすくさせる工夫や、用語などを常に意識して正しく使うことなどが求められます。

また、伴って変わる二つの量についての解釈や数量の関係の理解にも課題が見られます。具体的な場面と式の表現を結び付ける学習や表やグラフに表わしたり読みとったりする活動にしっかりと取り組むことが求められます。

【量と測定】

単位量当たりの大きさの求め方を理解することに課題が見られます。授業では、比較する二つの量において、どちらが単位量となるのかを表や数直線を利用して理解させる活動を繰り返すことが求められます。

【図形】

敷き詰め模様の中から図形を見だし、その構成要素や性質を基に一つの点の周りに集まった角の大きさが 360° になっていることを言葉や式を用いて記述することに課題が見られます。授業では、図形についての観察などの活動を通して、図形を構成する要素に着目させたり、敷き詰められた図形の中から示された図形を見いださせたりする活動を充実させることが求められます。

【数量関係】

除法で表すことができる二つの数量の関係を理解することに課題が見られます。授業では、数直線や表などを利用して、伴って変わる二つの量などの理解について具体的な場面と式の表現を結び付ける活動を充実させることが求められます。

(4) 中学校数学（IV資料 27～30ページ）

【数と式】

具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することに課題が見られます。ある文字について解くとき、等式の性質に基づいてその操作を、一つ一つ順を追っていくことができるようにすることが求められます。

【図形】

空間における平面と直線との位置関係（面と辺が平行であること）の理解についてや半円をその直径を軸として回転させると、球が構成されることの理解について課題が見られます。空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉え、空間図形を平面上に表現した

り、平面上の表現から空間図形の性質を読み取ったりする活動の充実が求められます。

【関数】

一次関数 $y=ax+b$ について、 a と b の値とグラフの特徴を関連付けて理解することについて課題が見られます。関数について、比例・反比例を表や式、グラフなどで表し、伴って変わる数量関係を的確に捉え、関数関係の特徴を理解できる活動の充実が求められます。

【資料の活用】

最頻値は、資料の中で最も多く出てくる値であることへの理解について、与えられた資料から中央値を求めることについて課題が見られます。与えられた情報を分類整理し、必要な情報を選択し的確に処理できるような観察、操作や実験などの活動の充実が求められます。

(5) 小学校理科 (IV資料 34・35ページ)

【物質】

物を水に溶かしても、全体の重さは変わらないことへの理解に課題が見られます。食塩を水に溶かす実験の際は正確性を確保するため、他の要因による変化がないよう実験器具の選定をすることが求められます。また、児童一人ひとりが見通しをもって予想し、実験結果を整理・分析する場、解釈・考察する場を作り、深く考えられるような指導改善が求められます。

【エネルギー】

乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることについて、実際の回路に適用できる問題に課題が見られます。学習過程において乾電池のつなぎ方が変わると電流の向きが変わることの視点をもたせること、児童一人ひとりが結果を整理・分析した上で解釈・考察する場面を作り、深く内容を理解できるような指導改善が求められます。

【生命】

骨と骨のつなぎ目について、科学的な概念、「関節」という科学的な言葉についての理解に課題が見られます。目的意識や必要感をもたせる指導、実際に見ることや実験ができない教材については、教材教具を工夫したり情報機器を活用したりするなど、学習内容を習熟するための教える側が特に意識して指導改善を行っていくことが求められます。

【地球】

堆積作用について、科学的な言葉や概念の理解に課題が見られます。実験を行う際は見通しをもって予想をさせること、視点を明確にし、原因とその結果との関連が理解できるようにすること、児童一人ひとりが結果を整理・分析しその上で解釈・考察する場面を設定し、学習内容について理解を深められるようにすること等、指導改善が求められます。

(6) 中学校理科 (IV資料 36・37ページ)

【物理】

オームの法則を使って抵抗の値を求めることへの理解に課題が見られます。実験では、見通しをもった予想と生徒一人ひとりが実験結果と予想の関係を整理・分析した上で考察する場面を設定し、深く理解するような指導改善が求められます。

【化学】

質量パーセント濃度、化学変化を原子や分子のモデルで説明すること、原子記号の表し方についての知識を身に付けていること等、多くの学習内容において課題が見られます。生徒一人ひとりが実験から生み出された結果をどのように解釈し考察すること、一人ひとりが必要観をもって実験観察を行うこと等についての指導法の改善を図り、理解を深めていくことが求められます。

【生物】

神経系についての働き、蒸散の働きの理解について課題が見られます。図や模型等を活用しつつ、実際の人や植物の体の仕組みへとつなげていく時には、いかに関連付けを意識させる指導上の工夫、導入部分でねらいをしっかりとらせること等が大切となります。実験結果につい

ての解釈や考察の場面では、実際の人や植物の体の仕組みへのつながりも途切れさせないための指導改善が求められます。

【地学】

台風の進路をきめる条件とは何か、地震の仕組みとP波とS波の関係、湿度と気温との関係の理解について課題が見られます。実際に実験を行うことはなく、気象では、天気図や上空の風の流れの図、地震では地震波の図を比較検討しながら整理分析し、考察します。生徒一人ひとりが考え理解する場面を設定する等、指導上の改善が求められます。また、気象や地震は生活と大変密着しており、生徒の興味や関心を高めやすい教材でもあります。更に生徒の興味や関心を高める工夫や、学習から学んだことを生活に生かす機会を作る等の指導改善も求められます。

3 正答数の分布からみる傾向（IV資料 38ページ）

国語については、小学校は、全国及び埼玉県と比較し、正答数の分布はほぼ同等でとなっていますが、中学校では、正答数が多い生徒の割合が少ない傾向にあります。

算数・数学については、全国及び埼玉県と比べ、A問題は正答数が多い児童生徒の割合が低く、B問題は正答数が少ない児童生徒の割合が高い傾向にあります。

理科については、全国及び埼玉県と比べ、正答数が多い児童生徒の割合が低い傾向にあります。正答率の低位、中位の児童生徒を更に伸ばす指導が課題となります。

4 生活習慣や学習環境等に関する調査結果（IV資料 39～42ページ）

国立教育政策研究所の分析には、児童生徒質問紙の回答と教科の平均正答率との間には相関が見られることが示されています。この分析に関連する質問事項の本市の調査結果から、本市の児童生徒に求められる生活習慣や学習環境等の改善に関する視点を次のとおりまとめました。

- (1) 教科・授業に関心をもって、意欲的に学ぶこと
- (2) 最後まであきらめずに、学習に取り組むこと
- (3) 新聞を読んだり、読書をしたりすること
- (4) 自分の意見や考えを発表したり、他者との話合いで自分の考えを深め広げたりすること
- (5) 基本的な生活習慣を確立し、学習時間を増やすこと
- (6) 様々なメディアを上手に活用していくこと
- (7) 家庭でのコミュニケーション等を大切にすること
- (8) 社会に対して興味・関心をもつこと
- (9) 自尊意識・規範意識を高めること

が明確になり、学力向上に成果が見られました。また、授業の流れを統一することで、教員の指導力向上にも成果があったと考えられます。

今後も、各中学校区の授業で小中の連携を図り、小学校で身に付けた授業の流れを中学校でも全教科で統一することや、板書の仕方やノートの書き方等への指導、「草加っ子の学びを支える授業の5か条」について、指導訪問や研修会、校内授業研究会等を通じて、更に徹底していくことで、教員の指導力向上を目指します。

(3) 草加市学力・学習状況調査の実施

草加市では、児童生徒一人ひとりの達成状況・課題を把握し、各学年における学習内容を当該年度内に確実に定着をさせることを目的に、草加市独自で「草加市学力・学習状況調査」を小学校1年生から中学校2年生まで実施しています。小学校は国語・算数、中学校は、国語・数学・英語、小中学校全学年で質問紙調査を実施しています。

各クラスの達成状況を把握することで、教員の指導力向上に役立てています。分析結果の活用方法等について、更に推進していくために、学力向上対策研修会の中で調査結果の活用及び課題解決に向けた取組について周知徹底を図り、基礎・基本の確実な定着を目指します。

今後も、結果分析を踏まえたフォローアッププリントの活用や、指導主事等による各校へ指導助言及び情報提供を行うなどして、補充的な学習の実施を支援します。

(4) 学力向上対策研修会の充実

市内各小中学校の校長及び、学力向上担当教員を対象に「学力向上対策研修会」を年3回実施します。

【研修会について】

6月に実施した「第1回学力向上対策研修会」では、埼玉県学力・学習状況調査の結果を分析し、その後の学力向上に向けた取組方法や、活用の仕方について周知しました。研修会を早めに行うことで、結果が通知された後すぐに、各校での分析や学力向上に向けての取組ができるようになりました。

10月に実施した「第2回学力向上対策研修会」では、埼玉県学力・学習状況調査と全国学力・学習状況調査の分析結果について周知し、指導主事から指導助言を行いました。その中で、各校の学力向上対策について情報交換を行い、学力の伸びが見られた学校の取組について共通理解を図りました。また、各校の学力向上プランの見直しについて指導助言しました。

2月に実施予定の「第3回学力向上対策研修会」では、草加市学力・学習状況調査の結果を受けて、補充学習の実施方法や指導主事による各校への指導及び情報提供を行い、学力の向上を目指します。

【コバトン問題集及び復習シート等の活用について】

昨年度からの取組で、埼玉県教育委員会が発行している「コバトン問題集」の活用について、各学校に周知したことにより、学校での積極的な活用が図られています。

また、平成29年度に埼玉県教育委員会が発行している「復習シート」を草加市のホームページに掲載し、学校だけでなく各家庭に周知することで、家庭学習の推進を図っています。

各校の代表教員による、埼玉県学力・学習状況調査の予想問題作成の支援を行い、教員の指導力の向上を図っています。

今後も、学力向上対策研修会を通して、草加市全体の授業改善のポイント等を明確に示し、学力向上担当教員が各校の推進者となり、「コバトン問題集」や「復習シート」、予想問題集などを確実に活用することを徹底し、児童生徒の更なる学力向上を目指します。

(5) 指導訪問・研究委嘱等における指導・支援の充実

ア 指導訪問について

《学校訪問》

市教育委員会の計画に基づき、埼玉県教育局南部教育事務所等の協力を得て、市内全小中学校を訪問し、基礎・基本の着実な定着と学力向上に向けた授業改善について指導しています。

《要請訪問》

指導主事及び学力向上担当指導員が、各教科の市教育研究会の授業研究会や、各校からの要請により、校内授業研究会等で、教員の指導力向上を目的とした指導をしています。

《各教科等の推進委員会の充実》

教育委員会が主導して、育成した推進委員（教員）を研修のリーダーとして、市内教員の指導力向上を目指します。

（情報教育推進委員会）ＩＣＴを活用した授業を推進し、学習意欲を高めたり、効果的な授業を行ったりすることで学力向上を目指します。

（国際理解教育推進委員会）推進委員を指導者として外国語・外国語活動の研修会を実施し、市内教員の指導力向上を図ります。副教材の作成や年間指導計画の見直し等について指導助言しています。

（体力向上推進委員会）草加市の児童生徒の体力の実態を把握し、各校・各園や関係機関と連携しながら課題解決のための取組を行い、草加市の児童生徒の体力の向上・健康の保持増進を目指します。

今後も、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を受けて、各担当教科の指導主事による教員への授業力向上や授業改善を目指した指導や支援を継続的に行い、児童生徒の学力向上を目指します。

さらに、教育委員会のリーダーシップのもと、各校の校内研修等での授業研究会や教育委員会主催の各種研修会、「教師塾」等を通して人材育成に取り組むとともに、指導力のある教員を活用した授業力を高める取組を推進し、教員の資質向上を図っていきます。

イ 研究委嘱について

全ての中学校区に、子ども教育の連携に係る研究を委嘱しており、目指す「草加っ子」（草加市幼保小中教育指針）に基づき、教科等の学びの連続性を踏まえた教育課程を編成するなど、目指す子ども像の具現化を目指した取組を行っています。平成２９年度には、草加中学校区が研究の成果について発表を行いました。その研究の成果を踏まえ、平成３１年度までに全ての中学校区が発表を行います。

これらの成果や、各校の取組について共通理解を図り、草加市が「目指す子ども像の具現化」に向けて支援します。

また、次のとおり研究委嘱等を行っており、それぞれの学校へ指導主事が指導助言や支援をしています。

☆外部専門機関と連携した英語指導力向上事業（文部科学省委託）

	学校名	研究発表日
1	川柳中学校	平成３０年１１月１３日
2	氷川小学校	平成３１年１月２３日

☆平成３０・３１年度 草加市教育委員会研究委嘱 草加っ子「生きる力プラン」

	学校名	研究領域
1	西町小学校	外国語活動・外国語科
2	新田小学校	主体的・対話的で深い学び
3	青柳小学校	主体的・対話的で深い学び
4	長栄小学校	特別の教科 道徳

☆平成30・31・32年度 草加市教育委員会研究委嘱 草加っ子「生きるカプラン」

	学校名	研究領域
1	栄小学校	外国語活動・外国語科
2	氷川小学校	外国語活動・外国語科
3	川柳中学校	主体的・対話的で深い学び
4	草加中学校	特別の教科 道徳

☆平成30年度 草加市教育委員会研究委嘱 草加っ子「読書活動推進プラン」

	学校名	研究領域
1	高砂小学校	読書活動の充実
2	瀬崎小学校	読書活動の充実
3	瀬崎中学校	読書活動の充実
4	新栄小学校	読書活動の充実
5	清門小学校	読書活動の充実
6	新栄中学校	読書活動の充実

(6) 学力向上推進校への支援

学力向上推進校には、中学校区で学力向上に係る指導訪問を行い、各校に応じた学力向上策を検討し、実効的な取組を行います。また、学力向上推進補助員を配置するなど、個に応じたきめ細かな支援を進めています。

指導主事や学力向上担当指導員の訪問では、学力調査の分析や各校の課題を明確に示し、その課題のための対策を具体的に進めるとともに、その経過と成果を見届けながら、継続的な指導をしています。

(7) ユニバーサルデザイン研修会の実施

通常学級に在籍する特別な教育支援を必要とする児童生徒を含め、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行うため、授業にユニバーサルデザインの視点を取り入れる方策について研修会を実施しています。また、研修並びに実践を進める中で、教室の全ての児童生徒にとって分かりやすい授業になるように授業改善を行います。

2 幼保小中を一貫した教育

目指す「草加っ子」(草加市幼保小中教育指針)に基づき、「0歳から15歳までの、『学び』『心』を結ぶ幼保小中を一貫した教育」に取り組んでいます。各中学校区が、目指す子ども像を共有し、その実現に向けて「草加市幼保小中一貫標準カリキュラム」を活用し、教科等の学びの連続性を踏まえた教育課程を編成しています。

また、全ての中学校に子ども教育連携教員(市費採用教員)を配置し、中学校教員による小学校への乗り入れ授業を実施しています。

3 きめ細かい学習支援の充実

(1) 学校教育補助員等による支援の充実

一人ひとりの児童生徒に基礎的な知識・技能を身に付けさせるために、学習補助員を配置し、よりきめ細かい学習支援の充実に取り組みます。また、必要に応じて学級支援員を配置し、落ち着いた学習環境を整えます。日本語指導を必要としている児童生徒にきめ細かい日本語支援を行うために、国際理解教育補助員を配置しています。外国語活動・英語教育の充実のため、全小中学校に語学指導助手(ALT)を配置しています。

☆ 学習補助員	51名	☆ 学力向上推進補助員	6名
☆ 学校司書	32名	☆ 国際理解教育補助員	8名
☆ 学級支援員	29名		

(2) 英語検定推進事業

英語検定推進事業では、3級受検料を上限に、市立中学校に通う3年生全生徒を対象に補助を行います。国の目標である卒業までに英語検定3級程度以上の英語力を身に付けることを目標としています。また、獨協大学との教育支援連携協定に基づき、平成30年度も、英語検定3級合格を目指した獨協大学の学生による学習会を実施しました。



平成29年度は337名の生徒が学習会に参加し、「分かりやすく説明してもらった。」と好評でした。平成29年度中学校3年生の英語検定3級以上の取得率は46%（平成29年12月現在）となり、国の目標値に大きく近づく結果になりました。今後も、国の目標値に近付けるよう、更に取組を推進していきます。

(3) 草加寺子屋・放課後学習

各校で授業規律を確立し、児童生徒が計算や漢字の繰り返し学習をできる時間や場の設定に取り組みます。さらに、児童生徒が学力を向上させる場として草加寺子屋（土曜学習等）・中学校放課後学習を開催します。

☆ 草加寺子屋（土曜学習等）年間13回

☆ 中学校放課後学習 年間18回

児童生徒に個々の発達段階に応じた予習・授業・復習の学習サイクルを身に付けさせられるように、保護者と連携しながら、家庭学習の充実に取り組みます。

4 読書活動の充実

平成30年に草加市子ども読書活動推進計画が策定されました。（平成30年度—平成35年度）子どもの読書活動を横断的かつ包括的に推進する体制を整備し、基本理念として掲げる「草加で育つ子どもたちが、いつまでも心に残る本との出会いを通して『生きる力』を身に付けること」を目指します。

平成30年度現在、市内全小中学校に司書教諭及び学校司書を配置しています。また、司書教諭等を対象に、学校図書館のより有効な運営及び活用について理解を深め、児童生徒の読書活動を推進するための読書活動推進研修会を実施しています。

今後も司書教諭を中心に、全教職員の共通理解に基づく協力体制を確立し、計画的な学校図書館の運営や読書活動の推進を図っていきます。

5 調査結果等の市民・保護者への公開

各調査の結果分析等を市のホームページに掲載し、一般市民等に広く公開することにより、市内の子どもたちの学習状況等の実態についてご理解いただき、学校と地域社会、保護者が一体となって子どもたちを育成していきます。

IV 資料

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について〔国語〕

結果概況

1 平均正答率の経年変化

- ・〔小学校〕 全国及び埼玉県の前年度平均正答率には及ばなかったが、昨年度の全国及び埼玉県との平均正答率の差は縮まった。
- ・〔中学校〕 全国及び埼玉県の前年度平均正答率には及ばず、昨年度の全国及び埼玉県との平均正答率の差が開いた。

○：差が向上した
▼：差が低下した
△：変化なし

〔小学校〕

〔国語A：主として知識〕	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国（公立）	74.8	70.7	-4.1
埼玉県（公立）	75.0	71.0	-4.0
草加市	73.0	70.0	-3.0
全国（公立）との差	-1.8	-0.7	○ 1.1
埼玉県（公立）との差	-2.0	-1.0	○ 1.0

〔国語B：主として活用〕	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国（公立）	57.5	54.7	-2.8
埼玉県（公立）	57.0	54.0	-3.0
草加市	54.0	53.0	-1.0
全国（公立）との差	-3.5	-1.7	○ 1.8
埼玉県（公立）との差	-3.0	-1.0	○ 2.0

〔中学校〕

〔国語A：主として知識〕	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国（公立）	77.4	76.1	-1.3
埼玉県（公立）	76.0	75.0	-1.0
草加市	75.0	72.0	-3.0
全国（公立）との差	-2.4	-4.1	▼ -1.7
埼玉県（公立）との差	-1.0	-3.0	▼ -2.0

〔国語B：主として活用〕	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国（公立）	72.2	61.2	-11.0
埼玉県（公立）	72.0	61.0	-11.0
草加市	69.0	56.0	-13.0
全国（公立）との差	-3.2	-5.2	▼ -2.0
埼玉県（公立）との差	-3.0	-5.0	▼ -2.0

2 領域別平均正答率の経年変化

[小学校 国語A]

- ・「話すこと・聞くこと」では、ほぼ全国及び埼玉県 averages 正答率と同等で、昨年度と比較すると、全国及び埼玉県の平均正答率との差を縮めた。
- ・「書くこと」では、全国及び埼玉県の平均正答率を下回り、昨年度と比較すると、全国及び埼玉県の平均正答率との差が広がった。
- ・「読むこと」では、全国及び埼玉県の平均正答率を下回ったが、昨年度と比較すると、全国、及び埼玉県の平均正答率との差を縮めた。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、全国及び埼玉県の平均正答率を上回り、昨年度と比較し大きく伸ばした。

[話すこと・聞くこと]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国 (公立)	69.2	90.8	21.6
埼玉県 (公立)	69.8	90.7	20.9
草加市	69.0	90.7	21.7
全国 (公立) との差	-0.2	-0.1	○ 0.1
埼玉県 (公立) との差	-0.8	0.0	○ 0.8

[書くこと]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国 (公立)	60.6	73.8	13.2
埼玉県 (公立)	59.5	74.4	14.9
草加市	60.0	73.1	13.1
全国 (公立) との差	-0.6	-0.7	▼ -0.1
埼玉県 (公立) との差	0.5	-1.3	▼ -1.8

[読むこと]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国 (公立)	70.2	74.0	3.8
埼玉県 (公立)	69.2	72.9	3.7
草加市	66.3	71.7	5.4
全国 (公立) との差	-3.9	-2.3	○ 1.6
埼玉県 (公立) との差	-2.9	-1.2	○ 1.7

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国 (公立)	78.0	67.0	-11.0
埼玉県 (公立)	78.1	66.9	-11.2
草加市	76.7	67.2	-9.5
全国 (公立) との差	-1.3	0.2	○ 1.5
埼玉県 (公立) との差	-1.4	0.3	○ 1.7

【小学校 国語B】

- ・「話すこと」では、全国平均正答率を下回り、埼玉県平均正答率と同等だった。昨年度と比較すると、全国及び埼玉県の平均正答率との差を縮めた。
- ・「書くこと」では、全国平均正答率を下回り、埼玉県平均正答率を上回った。昨年度と比較すると、全国及び埼玉県の平均正答率との差を縮めた。
- ・「読むこと」では、全国及び埼玉県の平均正答率を下回った。昨年度と比較すると、全国平均正答率との差が広がり、埼玉県との差は変わらなかった。

【話すこと・聞くこと】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	64.9	64.6	-0.3
埼玉県(公立)	63.1	64.1	1.0
草加市	58.4	64.1	5.7
全国(公立)との差	-6.5	-0.5	○ 6.0
埼玉県(公立)との差	-4.7	0.0	○ 4.7

【書くこと】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	53.4	45.6	-7.8
埼玉県(公立)	52.6	44.5	-8.1
草加市	50.4	44.5	-5.9
全国(公立)との差	-3.0	-1.1	○ 1.9
埼玉県(公立)との差	-2.2	0.0	○ 2.2

【読むこと】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	49.2	50.8	1.6
埼玉県(公立)	49.2	48.1	-1.1
草加市	48.3	47.2	-1.1
全国(公立)との差	-0.9	-3.6	▼ -2.7
埼玉県(公立)との差	-0.9	-0.9	△ 0.0

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	-	-	-
埼玉県(公立)	-	-	-
草加市	-	-	-
全国(公立)との差	-	-	-
埼玉県(公立)との差	-	-	-

【中学校 国語A】

- ・「書くこと」では、全国及び埼玉県 averages 正答率を下回り、昨年度と比較すると、全国及び埼玉県 averages 正答率との差が広がった。
- ・「書くこと」以外の3領域で、全国及び埼玉県 averages 正答率を下回り、昨年度と比較すると、全国 averages 正答率との差は変わらず、埼玉県 averages 正答率との差が広がった。

【話すこと・聞くこと】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	75.4	75.2	-0.2
埼玉県(公立)	74.0	74.2	0.2
草加市	71.9	70.0	-1.9
全国(公立)との差	-3.5	-5.2	▼ -1.7
埼玉県(公立)との差	-2.1	-4.2	▼ -2.1

【書くこと】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	85.7	73.9	-11.8
埼玉県(公立)	84.4	73.8	-10.6
草加市	83.1	71.3	-11.8
全国(公立)との差	-2.6	-2.6	△ 0.0
埼玉県(公立)との差	-1.3	-2.5	▼ -1.2

【読むこと】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	73.8	76.7	2.9
埼玉県(公立)	71.6	75.4	3.8
草加市	69.4	71.7	2.3
全国(公立)との差	-4.4	-5.0	▼ -0.6
埼玉県(公立)との差	-2.2	-3.7	▼ -1.5

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	77.2	76.5	-0.7
埼玉県(公立)	76.0	75.5	-0.5
草加市	75.9	72.3	-3.6
全国(公立)との差	-1.3	-4.2	▼ -2.9
埼玉県(公立)との差	-0.1	-3.2	▼ -3.1

【中学校 国語B】

- ・ 全ての領域において、全国及び埼玉県の前年度平均正答率を下回り、昨年度と比較すると、全国及び埼玉県の前年度平均正答率との差が広がった。

【話すこと・聞くこと】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	72.4	76.6	4.2
埼玉県(公立)	71.7	76.1	4.4
草加市	69.1	72.3	3.2
全国(公立)との差	-3.3	-4.3	▼ -1.0
埼玉県(公立)との差	-2.6	-3.8	▼ -1.2

【書くこと】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	60.8	31.3	-29.5
埼玉県(公立)	60.6	30.9	-29.7
草加市	57.7	27.4	-30.3
全国(公立)との差	-3.1	-3.9	▼ -0.8
埼玉県(公立)との差	-2.9	-3.5	▼ -0.6

【読むこと】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	72.1	53.5	-18.6
埼玉県(公立)	71.4	53.1	-18.3
草加市	68.6	48.0	-20.6
全国(公立)との差	-3.5	-5.5	▼ -2.0
埼玉県(公立)との差	-2.8	-5.1	▼ -2.3

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	41.4	49.2	7.8
埼玉県(公立)	41.4	49.6	8.2
草加市	37.8	45.4	7.6
全国(公立)との差	-3.6	-3.8	▼ -0.2
埼玉県(公立)との差	-3.6	-4.2	▼ -0.6

【小学校 国語】「話すこと・聞くこと」

○：差が向上した ▼：差が低下した △：変化なし

	国語A：主として知識				国語B：主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前回との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国（公立）	79.2	69.2	90.8	21.6	51.1	64.9	64.6	-0.3
埼玉県（公立）	78.8	69.8	90.7	20.9	49.3	63.1	64.1	1.0
草加市	77.0	69.0	90.7	21.7	48.2	58.4	64.1	5.7
全国（公立）との差	-2.2	-0.2	-0.1	○ 0.1	-2.9	-6.5	-0.5	○ 6.0
埼玉県（公立）との差	-1.8	-0.8	0.0	○ 0.8	-1.1	-4.7	0.0	○ 4.7

＜＜指導が必要な項目＞＞

◆（国語B）・話し合いの参加者として、質問の意図を捉える。

＜＜課題が見られた調査問題＞＞ ☆国語B1ー

＜＜授業改善の主なポイント＞＞

・話し合う視点を明確し、型にはまった話し合いではなく、言葉で伝え合う力を高めるための話し手、聞き手の在り方を示す。

・自分の立場を明確にしたうえで、互いの立場を大切にし、多くの考えを関連付けながら話し合いができるよう指導する。

【小学校 国語】「書くこと」

○：差が向上した ▼：差が低下した △：変化なし

	国語A：主として知識				国語B：主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国（公立）	72.8	60.6	73.8	13.2	53.4	53.4	45.6	-7.8
埼玉県（公立）	72.7	59.5	74.4	14.9	52.0	52.6	44.5	-8.1
草加市	70.9	60.0	73.1	13.1	50.9	50.4	44.5	-5.9
全国（公立）との差	-1.9	-0.6	-0.7	▼ -0.1	-2.5	-3.0	-1.1	○ 1.9
埼玉県（公立）との差	-1.8	0.5	-1.3	▼ -1.8	-1.1	-2.2	0.0	○ 2.2

＜＜指導が必要な項目＞＞

◆（国語B）・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。

・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。

＜＜課題が見られた調査問題＞＞ ☆国語B2二 国語B3二

＜＜授業改善の主なポイント＞＞

・本や文章などから必要な語句や文を引用することができる指導する。

・資料等から必要な内容を取り上げて、相手に伝わるように書くことを各教科で設定する。

【小学校 国語】「読むこと」

○：差が向上した ▼：差が低下した △：変化なし

	国語A：主として知識				国語B：主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国（公立）	78.5	70.2	74.0	3.8	69.3	49.2	50.8	1.6
埼玉県（公立）	77.8	69.2	72.9	3.7	68.1	49.2	48.1	-1.1
草加市	76.5	66.3	71.7	5.4	66.6	48.3	47.2	-1.1
全国（公立）との差	-2.0	-3.9	-2.3	○ 1.6	-2.7	-0.9	-3.6	▼ -2.7
埼玉県（公立）との差	-1.3	-2.9	-1.2	○ 1.7	-1.5	-0.9	-0.9	△ 0.0

＜＜指導が必要な項目＞＞

- ◆（国語A）・登場人物の心情について、情景描写を基に捉える。
- ◆（国語B）・目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。

＜＜課題が見られた調査問題＞＞ ☆国語A4 国語B3一 国語B3二

＜＜授業改善の主なポイント＞＞

- ・国語に限らず他教科等の調べ活動の際は、本の題名や種類に着目し、目次や索引などを効果的に利用するなど、目的に合致した本の選定ができるよう指導する。
- ・登場人物の相互関係や心情を考えさせる際は、描写を基に読み進め、想像を豊かにしながら読むことができるよう指導する。

【小学校 国語】「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

○：差が向上した ▼：差が低下した △：変化なし

	国語A：主として知識				国語B：主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国（公立）	71.1	78.0	67.0	-11.0	-	-	-	-
埼玉県（公立）	69.4	78.1	66.9	-11.2	-	-	-	-
草加市	67.4	76.7	67.2	-9.5	-	-	-	-
全国（公立）との差	-3.7	-1.3	0.2	○ 1.5	-	-	-	-
埼玉県（公立）との差	-2.0	-1.4	0.3	○ 1.7	-	-	-	-

＜＜指導が必要な項目＞＞

- ◆（国語A）・文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。

＜＜課題が見られた調査問題＞＞ ☆国語A5

＜＜授業改善の主なポイント＞＞

- ・「だれが」、「いつ」、「どこで」、「なにを」、「どのように」、「なぜ」などという文の構成について理解させる。
- ・文章を書かせた際は読み直す時間を設定し、主語、述語、修飾と被修飾との関係等について、確認する。

【中学校 国語】「話すこと・聞くこと」

○：差が向上した ▼：差が低下した △：変化なし

	国語A：主として知識				国語B：主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国 (公立)	78.9	75.4	75.2	-0.2	-	72.4	76.6	4.2
埼玉県 (公立)	77.4	74.0	74.2	0.2	-	71.7	76.1	4.4
草加市	75.4	71.9	70.0	-1.9	-	69.1	72.3	3.2
全国 (公立) との差	-3.5	-3.5	-5.2	▼ -1.7	-	-3.3	-4.3	▼ -1.0
埼玉県 (公立) との差	-2.0	-2.1	-4.2	▼ -2.1	-	-2.6	-3.8	▼ -1.2

《指導が必要な項目》

- ◆ (国語A) ・話の論理的な構成や展開などに注意して聞くこと。
- ・話合いの話題や方向を捉えて的確に話すこと。

- ◆ (国語B) ・質問の意図を捉えること。
- ・全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すこと。

《課題が見られた調査問題》 ☆国語A 1ー 6二 ☆国語B 2一, 三

《授業改善の主なポイント》

- ・相手の話す内容を的確に聞き取り、意図を的確に捉える指導の充実。
- ・話合いの話題に応じて、適切な言葉を選んで話す指導の充実。
- ・全体と部分との関係に注意して話を構成し、交流を通して振り返り、工夫して話す指導の充実。

【中学校 国語】「書くこと」

○：差が向上した ▼：差が低下した △：変化なし

	国語A：主として知識				国語B：主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国 (公立)	73.7	85.7	73.9	-11.8	58.3	60.8	31.3	-29.5
埼玉県 (公立)	72.5	84.4	73.8	-10.6	57.0	60.6	30.9	-29.7
草加市	70.9	83.1	71.3	-11.8	54.1	57.7	27.4	-30.3
全国 (公立) との差	-2.8	-2.6	-2.6	△ 0.0	-4.2	-3.1	-3.9	▼ -0.8
埼玉県 (公立) との差	-1.6	-1.3	-2.5	▼ -1.2	-2.9	-2.9	-3.5	▼ -0.6

《指導が必要な項目》

- ◆ (国語A) ・段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にすること。
- ◆ (国語B) ・目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと。

《課題が見られた調査問題》 ☆国語A 4二

《授業改善の主なポイント》

- ・伝えたい事柄や意見を明確にして、文章の構成を工夫する指導の充実。
- ・相手を想定し、読みやすく分かりやすい文章の書き方を工夫する指導の充実。

【中学校 国語】「読むこと」

○：差が向上した ▼：差が低下した △：変化なし

	国語A：主として知識				国語B：主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国（公立）	78.6	73.8	76.7	2.9	66.5	72.1	53.5	-18.6
埼玉県（公立）	77.7	71.6	75.4	3.8	65.6	71.4	53.1	-18.3
草加市	76.1	69.4	71.7	2.3	63.8	68.6	48.0	-20.6
全国（公立）との差	-2.5	-4.4	-5.0	▼ -0.6	-2.7	-3.5	-5.5	▼ -2.0
埼玉県（公立）との差	-1.6	-2.2	-3.7	▼ -1.5	-1.8	-2.8	-5.1	▼ -2.3

《指導が必要な項目》

- ◆（国語A）・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解すること。
・段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てること。
・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること。
- ◆（国語B）・文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えること。
・文章の構成や展開について自分の考えを持つこと。

《課題が見られた調査問題》 ☆国語A 3二 5一、二 ☆国語B 1一、二 3一、二

《授業改善の主なポイント》

- ・場面の展開や登場人物の心情など、叙述に即して捉える指導の充実。
- ・段落相互の関係や、情報を的確に捉える指導の充実。
- ・グラフや図等と文章を関連づけ、内容を的確に理解する指導の充実。

【中学校 国語】「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

○：差が向上した ▼：差が低下した △：変化なし

	国語A：主として知識				国語B：主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国（公立）	73.9	77.2	76.5	-0.7	-	41.4	49.2	7.8
埼玉県（公立）	73.7	76.0	75.5	-0.5	-	41.4	49.6	8.2
草加市	71.7	75.9	72.3	-3.6	-	37.8	45.4	7.6
全国（公立）との差	-2.2	-1.3	-4.2	▼ -2.9	-	-3.6	-3.8	▼ -0.2
埼玉県（公立）との差	-2.0	-0.1	-3.2	▼ -3.1	-	-3.6	-4.2	▼ -0.6

《指導が必要な項目》

- ◆（国語A）・文脈に即して漢字を正しく書くこと。
・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと。
・行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。
・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと。
・古典に表れたものの見方や考え方を理解すること。
- ◆（国語B）・相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くこと。

《課題が見られた調査問題》 ☆国語A 7一、二 8一1、2、3 8三エ 8五 8六2、3

《授業改善の主なポイント》

- ・文脈を正しく捉え、適切な漢字を選び、正しく書く指導の充実。
- ・文章の流れから語句の意味を正しく理解する指導の充実。
- ・行書について理解を深める指導の充実。
- ・文学的な文章に親しみ、表現の特色や昔の人の考え方を理解する指導の充実。

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について【算数・数学】

結果概況

1 平均正答率の経年変化

- ・【小学校】 全国の平均正答率を下回ったが、埼玉県の前年度平均正答率とは同等だった。昨年度の全国及び埼玉県との平均正答率の差は縮まった。
- ・【中学校】 全国及び埼玉県の前年度平均正答率には及ばず、昨年度の全国及び埼玉県との平均正答率の差が開いた。

○：差が向上した
▼：差が低下した
△：変化なし

【小学校】

【算数A：主として知識】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国（公立）	78.6	63.5	-15.1
埼玉県（公立）	76.0	62.0	-14.0
草加市	73.0	62.0	-11.0
全国（公立）との差	-5.6	-1.5	○ 4.1
埼玉県（公立）との差	-3.0	0.0	○ 3.0

【算数B：主として活用】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国（公立）	45.9	51.5	5.6
埼玉県（公立）	45.0	50.0	5.0
草加市	43.0	50.0	7.0
全国（公立）との差	-2.9	-1.5	○ 1.4
埼玉県（公立）との差	-2.0	0.0	○ 2.0

【中学校】

【数学A：主として知識】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国（公立）	64.6	66.1	1.5
埼玉県（公立）	63.0	65.0	2.0
草加市	61.0	61.0	0.0
全国（公立）との差	-3.6	-5.1	▼ -1.5
埼玉県（公立）との差	-2.0	-4.0	▼ -2.0

【数学B：主として活用】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国（公立）	48.1	46.9	-1.2
埼玉県（公立）	48.0	47.0	-1.0
草加市	46.0	43.0	-3.0
全国（公立）との差	-2.1	-3.9	▼ -1.8
埼玉県（公立）との差	-2.0	-4.0	▼ -2.0

2 領域別平均正答率の経年変化

[小学校 算数A]

- ・「数と計算」と「数量関係」では、全国及び埼玉県の前年度平均正答率を下回ったが、昨年度と比較すると、全国及び埼玉県の平均正答率との差を縮めた。
- ・「量と測定」では、全国及び埼玉県の平均正答率を下回ったが、昨年度と比較すると全国の平均正答率との差が広がり、埼玉県の平均正答率との差を縮めた。
- ・「図形」では、全国及び埼玉県の平均正答率を上回り、昨年度と比較すると、全国及び埼玉県の平均正答率との差を向上させた。

[数と計算]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国 (公立)	80.6	62.3	-18.3
埼玉県 (公立)	77.6	61.4	-16.2
草加市	74.7	60.6	-14.1
全国 (公立) との差	-5.9	-1.7	○ 4.2
埼玉県 (公立) との差	-2.9	-0.8	○ 2.1

[量と測定]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国 (公立)	68.8	72.7	3.9
埼玉県 (公立)	66.2	69.3	3.1
草加市	64.6	69.1	4.5
全国 (公立) との差	-4.2	-3.6	○ 0.6
埼玉県 (公立) との差	-1.6	-0.2	○ 1.4

[図形]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国 (公立)	81.1	56.9	-24.2
埼玉県 (公立)	79.6	56.1	-23.5
草加市	78.5	57.7	-20.8
全国 (公立) との差	-2.6	0.8	○ 3.4
埼玉県 (公立) との差	-1.1	1.6	○ 2.7

[数量関係]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国 (公立)	79.6	60.1	-19.5
埼玉県 (公立)	76.3	58.9	-17.4
草加市	73.1	58.1	-15.0
全国 (公立) との差	-6.5	-2.0	○ 4.5
埼玉県 (公立) との差	-3.2	-0.8	○ 2.4

[小学校 算数B]

- ・「数と計算」では、全国平均正答率を下回り、埼玉県平均正答率と同等だった。昨年度と比較すると、全国及び埼玉県の平均正答率との差を縮めた。
- ・「量と測定」と「図形」では、全国及び埼玉県の平均正答率を下回ったが、昨年度と比較すると、全国平均正答率との差は広がり、埼玉県の平均正答率との差を縮めた。
- ・「数量関係」では、全国及び埼玉県の平均正答率を下回ったが、昨年度と比較すると、全国及び埼玉県の平均正答率との差を縮めた。

[数と計算]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	52.8	58.4	5.6
埼玉県(公立)	51.4	57.0	5.6
草加市	49.6	57.0	7.4
全国(公立)との差	-3.2	-1.4	○ 1.8
埼玉県(公立)との差	-1.8	0.0	○ 1.8

[量と測定]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	47.0	52.4	5.4
埼玉県(公立)	44.1	50.6	6.5
草加市	42.9	50.1	7.2
全国(公立)との差	-4.1	-2.3	○ 1.8
埼玉県(公立)との差	-1.2	-0.5	○ 0.7

[図形]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	13.2	59.9	46.7
埼玉県(公立)	11.3	58.6	47.3
草加市	10.4	58.5	48.1
全国(公立)との差	-2.8	-1.4	○ 1.4
埼玉県(公立)との差	-0.9	-0.1	○ 0.8

[数量関係]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	40.0	45.1	5.1
埼玉県(公立)	38.5	44.0	5.5
草加市	37.1	43.7	6.6
全国(公立)との差	-2.9	-1.4	○ 1.5
埼玉県(公立)との差	-1.4	-0.3	○ 1.1

[中学校 数学A]

- ・「資料の活用」では、全国及び埼玉県 averages 正答率を下回ったが、昨年度と比較すると、全国 averages 正答率との差を縮め、埼玉県 averages 正答率との差が広がった。
- ・「資料の活用」以外の3領域で、全国及び埼玉県 averages 正答率を下回り、昨年度と比較すると、全国及び埼玉県 averages 正答率との差が広がった。

[数と式]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	70.4	71.1	0.7
埼玉県(公立)	68.9	69.2	0.3
草加市	65.6	65.1	-0.5
全国(公立)との差	-4.8	-6.0	▼ -1.2
埼玉県(公立)との差	-3.3	-4.1	▼ -0.8

[図形]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	66.0	69.1	3.1
埼玉県(公立)	65.2	68.7	3.5
草加市	62.3	64.8	2.5
全国(公立)との差	-3.7	-4.3	▼ -0.6
埼玉県(公立)との差	-2.9	-3.9	▼ -1.0

[関数]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	57.4	55.5	-1.9
埼玉県(公立)	55.5	54.2	-1.3
草加市	54.3	49.1	-5.2
全国(公立)との差	-3.1	-6.4	▼ -3.3
埼玉県(公立)との差	-1.2	-5.1	▼ -3.9

[資料の活用]	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	57.6	63.5	5.9
埼玉県(公立)	57.3	62.7	5.4
草加市	57.4	60.2	2.8
全国(公立)との差	-0.2	-3.3	▼ -3.1
埼玉県(公立)との差	0.1	-2.5	▼ -2.6

【中学校 数学B】

- ・ 全ての領域で全国及び埼玉県 averages 正答率を下回った。
- ・ 「数と式」「関数」では、昨年度と比較すると、全国の平均正答率との差を縮め、埼玉県の平均正答率との差は広がった。
- ・ 「図形」「資料の活用」では、昨年度と比較すると、全国及び平均正答率との差が広がった。

【数と式】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	46.3	51.4	5.1
埼玉県(公立)	44.6	50.9	6.3
草加市	42.3	47.6	5.3
全国(公立)との差	-4.0	-3.8	○ 0.2
埼玉県(公立)との差	-2.3	-3.3	▼ -1.0

【図形】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	47.1	46.7	-0.4
埼玉県(公立)	47.4	46.4	-1.0
草加市	45.1	41.4	-3.7
全国(公立)との差	-2.0	-5.3	▼ -3.3
埼玉県(公立)との差	-2.3	-5.0	▼ -2.7

【関数】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	50.8	52.8	2.0
埼玉県(公立)	50.0	52.8	2.8
草加市	49.6	49.8	0.2
全国(公立)との差	-1.2	-3.0	▼ -1.8
埼玉県(公立)との差	-0.4	-3.0	▼ -2.6

【資料の活用】	平成29年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H29
全国(公立)	49.1	38.0	-11.1
埼玉県(公立)	48.9	37.5	-11.4
草加市	46.5	33.0	-13.5
全国(公立)との差	-2.6	-5.0	▼ -2.4
埼玉県(公立)との差	-2.4	-4.5	▼ -2.1

[小学校 算数] 「数と計算」

○:差が向上した ▼:差が低下した △:変化なし

	算数A:主として知識				算数B:主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国(公立)	80.5	80.6	62.3	-18.3	44.4	52.8	58.4	5.6
埼玉県(公立)	78.2	77.6	61.4	-16.2	43.2	51.4	57.0	5.6
草加市	76.1	74.7	60.6	-14.1	41.8	49.6	57.0	7.4
全国(公立)との差	-4.4	-5.9	-1.7	○ 4.2	-2.6	-3.2	-1.4	○ 1.8
埼玉県(公立)との差	-2.1	-2.9	-0.8	○ 2.1	-1.4	-1.8	0.0	○ 1.8

《指導が必要な項目》

- ◆(算数A)・除法で表すことができる二つの数量の関係を理解すること。
 - ・1に当たる大きさを求める問題場面において、除数が1より小さい小数である場合でも除法を用いることを理解していること。
- ◆(算数B)・示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断することができる。
 - ・示された考え方を解釈し、条件を変更した場合について考察した数量の関係を、表現方法を適用して言葉と数を用いて記述すること。

《課題が見られた調査問題》 ☆算数A 1(1)(3) 算数B 2(2) 4(2)

《授業改善の主なポイント》

- ・表を用いて、伴って変わる二つの量の関係を考察する活動の重視。
- ・小数の除法や伴って変わる二つの量などの理解について、具体的な場面と式の表現を結び付ける学習の重視。
- ・示された考え方を解釈、表やグラフを用いてわかりやすく表したり読み取ったりする活動を多く取り入れる。
- ・示された考え方を解釈すること、解釈した内容と条件を変更した内容について考察することなど、具体的な言葉や数を用いる活動を多く取り入れる。

[小学校 算数] 「量と測定」

○:差が向上した ▼:差が低下した △:変化なし

	算数A:主として知識				算数B:主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国(公立)	77.0	68.8	72.7	3.9	43.7	47.0	52.4	5.4
埼玉県(公立)	77.3	66.2	69.3	3.1	43.7	44.1	50.6	6.5
草加市	76.0	64.6	69.1	4.5	42.0	42.9	50.1	7.2
全国(公立)との差	-1.0	-4.2	-3.6	○ 0.6	-1.7	-4.1	-2.3	○ 1.8
埼玉県(公立)との差	-1.3	-1.6	-0.2	○ 1.4	-1.7	-1.2	-0.5	○ 0.7

《指導が必要な項目》

- ◆(算数A)・異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解すること。
- ◆(算数B)・図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が360°になっていることを記述すること。
 - ・示された考え方を解釈し、条件を変更した場合について考察した数量の関係を、表現方法を適用して言葉と数を用いて記述すること。

《課題が見られた調査問題》 ☆算数A 4(1) 算数B 1(2) 2(2)

《授業改善の主なポイント》

- ・異種の二つの量を比べる際、一方の量がそろっているときの比べ方や表し方など、場面をしっかりと想定したり、実際に体を使って体感したりするなどの活動を行うこと。
- ・示された考え方を解釈すること、解釈した内容と条件を変更した内容について考察することなど、具体的な言葉や数を用いる活動を多く取り入れる。

【小学校 算数】「図形」

○：差が向上した ▼：差が低下した △：変化なし

	算数A：主として知識				算数B：主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国(公立)	78.8	81.1	56.9	-24.2	36.3	13.2	59.9	46.7
埼玉県(公立)	76.3	79.6	56.1	-23.5	36.1	11.3	58.6	47.3
草加市	72.4	78.5	57.7	-20.8	35.4	10.4	58.5	48.1
全国(公立)との差	-6.4	-2.6	0.8	○ 3.4	-0.9	-2.8	-1.4	○ 1.4
埼玉県(公立)との差	-3.9	-1.1	1.6	○ 2.7	-0.7	-0.9	-0.1	○ 0.8

＜＜指導が必要な項目＞＞

- ◆(算数B)・敷き詰め模様の中から図形を見だし、その構成要素や性質を基に、一つの点の周りに集まった角の大きさの和が 360° になっていることを言葉や式を用いて記述すること。

＜＜課題が見られた調査問題＞＞ ☆算数B 1(2)

＜＜授業改善の主なポイント＞＞

- ・図形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目させたり、敷き詰められた図形の中から示された図形を見いだす活動等を行う。

【小学校 算数】「数量関係」

○：差が向上した ▼：差が低下した △：変化なし

	算数A：主として知識				算数B：主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国(公立)	68.5	79.6	60.1	-19.5	42.9	40.0	45.1	5.1
埼玉県(公立)	67.8	76.3	58.9	-17.4	41.8	38.5	44.0	5.5
草加市	66.0	73.1	58.1	-15.0	39.4	37.1	43.7	6.6
全国(公立)との差	-2.5	-6.5	-2.0	○ 4.5	-3.5	-2.9	-1.4	○ 1.5
埼玉県(公立)との差	-1.8	-3.2	-0.8	○ 2.4	-2.4	-1.4	-0.3	○ 1.1

＜＜指導が必要な項目＞＞

- ◆(算数A)・除法で表すことができる二つの数量の関係を理解すること。
 ・1に当たる大きさを求める問題場面において、除数が1より小さい小数である場合でも除法を用いることを理解していること。
 ・百分率を求めること。
- ◆(算数B)・示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断することができる。
 ・示された考え方を解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現すること。

＜＜課題が見られた調査問題＞＞ ☆算数A 1(1)(3) 8 算数B 2(2) 4(1)

＜＜授業改善の主なポイント＞＞

- ・表を用いて、伴って変わる二つの量の関係を考察する活動の重視。
 ・小数の除法や伴って変わる二つの量などの理解について、具体的な場面と式の表現を結び付ける学習の重視。
 ・百分率についての理解を深める活動や、具体的な使い方についての活動の重視。
 ・示された考え方を解釈、表やグラフを用いてわかりやすく表したり読み取ったりする活動を多く取り入れる。
 ・分配法則に限らず、結合法則との関連や四則計算の工夫による式の変形など、日頃の授業から多く取り入れ活用できるよう取り組む。

	数学A：主として知識				数学B：主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国 (公立)	65.9	70.4	71.1	0.7	51.5	46.3	51.4	5.1
埼玉県 (公立)	64.3	68.9	69.2	0.3	50.5	44.6	50.9	6.3
草加市	60.9	65.6	65.1	-0.5	47.3	42.3	47.6	5.3
全国 (公立) との差	-5.0	-4.8	-6.0	▼ -1.2	-4.2	-4.0	-3.8	○ 0.2
埼玉県 (公立) との差	-3.4	-3.3	-4.1	▼ -0.8	-3.2	-2.3	-3.3	▼ -1.0

＜＜指導が必要な項目＞＞

◆(数学A)・絶対値の意味を理解していること。

- ・指数を含む正の数と負の数の計算ができること。
- ・ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解していること。
- ・数量の大小関係を不等式に表わすこと。
- ・具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することができること。
- ・方程式を解く場面における等式の性質の用い方について理解していること。
- ・簡単な連立二元一次方程式を解くことができること。
- ・着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることができること。

◆(数学B)・事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができること。

- ・3つの計算の順番を入れ替えたときの計算結果を数学的に表現することができること。

＜＜課題が見られた調査問題＞＞ ☆数学A 1(2)(3)(4) 2(1)(4) 3(1)(3)(4) ☆数学B 2(2)(3)

＜＜授業改善の主なポイント＞＞

- ・数学的な用語の意味についての理解を深める授業展開の重視。
- ・数量の関係や法則などを文字を用いた式に表したり、式を読み取ったりする授業展開の重視。
- ・等式の性質を理解し、等式の性質を用いて目的に応じて変形できるような授業展開の工夫。
- ・与えられた情報を分類整理し、必要な情報を選択し的確に処理できるような観察、操作や実験などの活動の充実。

	数学A：主として知識				数学B：主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国 (公立)	67.1	66.0	69.1	3.1	33.3	47.1	46.7	-0.4
埼玉県 (公立)	65.4	65.2	68.7	3.5	34.4	47.4	46.4	-1.0
草加市	63.2	62.3	64.8	2.5	31.7	45.1	41.4	-3.7
全国 (公立) との差	-3.9	-3.7	-4.3	▼ -0.6	-1.6	-2.0	-5.3	▼ -3.3
埼玉県 (公立) との差	-2.2	-2.9	-3.9	▼ -1.0	-2.7	-2.3	-5.0	▼ -2.7

＜＜指導が必要な項目＞＞

- ◆(数学A)・折り目の線の作図と角の二等分線の関係を理解していること。
 - ・空間における平面と直線との位置関係（面と辺が平行であること）を理解していること。
 - ・半円を、その直径を軸として回転させると、球が構成されることを理解していること。
 - ・四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の $1/3$ であることを理解していること。
- ◆(数学B)・証明を振り返り、証明した事柄を基にして、新たな性質を見出すことができること。
 - ・発展的に考え条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すことができること。
 - ・付加された条件のもとで、新たな事柄を見だし、説明することができること。

＜＜課題が見られた調査問題＞＞ ☆数学A 4(2) 5(1)(2)(4) ☆数学B 4(1)(2)(3)

＜＜授業改善の主なポイント＞＞

- ・見通しをもって作図したり図形の関係について調べたりできるよう、観察、操作や実験などの活動の充実。
- ・空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉え、空間図形を平面上に表現したり、平面上の表現から空間図形の性質を読み取る活動の重視。

[中学校 数学] 「関数」

○:差が向上した ▼:差が低下した △:変化なし

	数学A:主として知識				数学B:主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国(公立)	52.0	57.4	55.5	-1.9	41.4	50.8	52.8	2.0
埼玉県(公立)	49.4	55.5	54.2	-1.3	39.9	50.0	52.8	2.8
草加市	49.3	54.3	49.1	-5.2	38.0	49.6	49.8	0.2
全国(公立)との差	-2.7	-3.1	-6.4	▼ -3.3	-3.4	-1.2	-3.0	▼ -1.8
埼玉県(公立)との差	-0.1	-1.2	-5.1	▼ -3.9	-1.9	-0.4	-3.0	▼ -2.6

《指導が必要な項目》

- ◆(数学A)・比例 $y=ax$ における比例定数 a の意味を理解していること。
- ・与えられた比例のグラフから x の変域に対応する y の変域を求めることができること。
 - ・反比例について、グラフと表を関連付けて理解していること。
 - ・座標平面上に点の位置を示すことができること。
 - ・一次関数 $y=ax+b$ について、 a と b の値とグラフの特徴を関連付けて理解していること。
 - ・一次関数の意味を理解していること。
 - ・連立二元一次方程式の解を座標とする点は、座標平面上の2直線の交点であることを理解していること。

《課題が見られた調査問題》 ☆数学A 9(1)(2)(3) 10 11(2) 12 13

《授業改善の主なポイント》

- ・関数について、比例・反比例を表や式、グラフなどで表し、関数関係の特徴を理解できる授業展開の重視。
- ・伴って変わる数量関係を的確にとらえ、表や式、グラフに表す活動の重視。

【中学校 数学】「資料の活用」

○：差が向上した ▼：差が低下した △：変化なし

	数学A：主として知識				数学B：主として活用			
	平均正答率(%)			前年度との差	平均正答率(%)			前年度との差
	H28	H29	H30	H30-H29	H28	H29	H30	H30-H29
全国(公立)	56.5	57.6	63.5	5.9	39.3	49.1	38.0	-11.1
埼玉県(公立)	54.5	57.3	62.7	5.4	38.4	48.9	37.5	-11.4
草加市	52.9	57.4	60.2	2.8	35.8	46.5	33.0	-13.5
全国(公立)との差	-3.6	-0.2	-3.3	▼ -3.1	-3.5	-2.6	-5.0	▼ -2.4
埼玉県(公立)との差	-1.6	0.1	-2.5	▼ -2.6	-2.6	-2.4	-4.5	▼ -2.1

＜＜指導が必要な項目＞＞

- ◆(数学A)・最頻値は、資料の中で最も多く出てくる値であることを理解していること。
 - ・与えられた資料から中央値を求めることができること。
- ◆(数学B)・与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができること。
 - ・不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができること。

＜＜課題が見られた調査問題＞＞ ☆数学A 14(1)(2) ☆数学B 1(1)(3)

＜＜授業改善の主なポイント＞＞

- ・与えられた情報を分類整理し、必要な情報を選択し的確に処理できるような観察、操作や実験などの活動の充実。
- ・図形の合同条件について理解を深め、図形の性質を三角形の合同条件を基にして確かめ、論理的に考察し表現する能力を身に付けるための活動の重視。

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について [理科]

結果概況

1 平均正答率の経年変化

- ・ [小学校] 全国及び埼玉県 averages 正答率には及ばなかったが、前回年度の全国及び埼玉県との平均正答率の差は縮まった。
- ・ [中学校] 全国及び埼玉県 averages 正答率には及ばず、前回年度の全国及び埼玉県との平均正答率の差は「活用」の全国との差以外は広がった。

○: 差が向上した
▼: 差が低下した
△: 変化なし

[小学校]

[理科]	平成27年度 平均正答率(%)	平成30年度 平均正答率(%)	対前回年度比較 H30－H27
全国(公立)	60.8	60.3	-0.5
埼玉県(公立)	59.2	59.0	-0.2
草加市	55.9	57.0	1.1
全国(公立)との差	-4.9	-3.3	○ 1.6
埼玉県(公立)との差	-3.3	-2.0	○ 1.3

[理科:主として知識]	平成27年度 平均正答率(%)	平成30年度 平均正答率(%)	対前回年度比較 H30－H27
全国(公立)	61.3	78.0	16.7
埼玉県(公立)	59.2	75.0	15.8
草加市	56.7	74.0	17.3
全国(公立)との差	-4.6	-4.0	○ 0.6
埼玉県(公立)との差	-2.5	-1.0	○ 1.5

[理科:主として活用]	平成27年度 平均正答率(%)	平成30年度 平均正答率(%)	対前回年度比較 H30－H27
全国(公立)	60.5	56.2	-4.3
埼玉県(公立)	59.1	55.0	-4.1
草加市	55.4	54.0	-1.4
全国(公立)との差	-5.1	-2.2	○ 2.9
埼玉県(公立)との差	-3.7	-1.0	○ 2.7

[中学校]

[理科]	平成27年度 平均正答率(%)	平成30年度 平均正答率(%)	対前回年度比較 H30－H27
全国(公立)	53.0	66.1	13.1
埼玉県(公立)	51.6	65.0	13.4
草加市	49.4	62.0	12.6
全国(公立)との差	-3.6	-4.1	▼ -0.5
埼玉県(公立)との差	-2.2	-3.0	▼ -0.8

[理科:主として知識]	平成27年度 平均正答率(%)	平成30年度 平均正答率(%)	対前回年度比較 H30－H27
全国(公立)	63.8	67.9	4.1
埼玉県(公立)	62.9	66.0	3.1
草加市	61.6	63.0	1.4
全国(公立)との差	-2.2	-4.9	▼ -2.7
埼玉県(公立)との差	-1.3	-3.0	▼ -1.7

[理科:主として活用]	平成27年度 平均正答率(%)	平成30年度 平均正答率(%)	対前回年度比較 H30－H27
全国(公立)	48.8	64.9	16.1
埼玉県(公立)	47.2	64.0	16.8
草加市	44.7	61.0	16.3
全国(公立)との差	-4.1	-3.9	○ 0.2
埼玉県(公立)との差	-2.5	-3.0	▼ -0.5

2 領域別平均正答率の経年変化

[小学校 理科]

- ・ 全ての領域で全国及び埼玉県 averages 正答率を下回ったが、前回年度と比較すると、全国及び埼玉県の平均正答率との差を縮めた。

[物質]	平成27年度	平成30年度	対前回年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30-H27
全国 (公立)	57.4	59.8	2.4
埼玉県 (公立)	55.9	59.2	3.3
草加市	54.5	57.9	3.4
全国 (公立) との差	-2.9	-1.9	○ 1.0
埼玉県 (公立) との差	-1.4	-1.3	○ 0.1

[エネルギー]	平成27年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30-H27
全国 (公立)	65.6	53.1	-12.5
埼玉県 (公立)	63.5	51.5	-12.0
草加市	58.7	48.6	-10.1
全国 (公立) との差	-6.9	-4.5	○ 2.4
埼玉県 (公立) との差	-4.8	-2.9	○ 1.9

[生命]	平成27年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30-H27
全国 (公立)	61.2	73.6	12.4
埼玉県 (公立)	59.0	71.5	12.5
草加市	54.9	69.8	14.9
全国 (公立) との差	-6.3	-3.8	○ 2.5
埼玉県 (公立) との差	-4.1	-1.7	○ 2.4

[地球]	平成27年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30-H27
全国 (公立)	57.8	49.5	-8.3
埼玉県 (公立)	57.2	48.9	-8.3
草加市	53.7	48.3	-5.4
全国 (公立) との差	-4.1	-1.2	○ 2.9
埼玉県 (公立) との差	-3.5	-0.6	○ 2.9

[中学校 理科]

- ・ 全ての領域で全国及び埼玉県 averages 正答率を下回った。
- ・ 「物理的領域」では、前回年度と比較すると、全国の平均正答率との差が縮まり、埼玉県の平均正答率との差が広がった。
- ・ 「化学的領域」では、前回年度と比較すると、全国及び埼玉県の平均正答率との差を縮めた。
- ・ 「生物的領域」「地学的領域」では、前回年度と比較すると、全国及び埼玉県の平均正答率との差が広がった。

[物理的領域]	平成27年度	平成30年度	対前回年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H27
全国(公立)	48.9	74.4	25.5
埼玉県(公立)	46.7	74.1	27.4
草加市	45.6	72.0	26.4
全国(公立)との差	-3.3	-2.4	○ 0.9
埼玉県(公立)との差	-1.1	-2.1	▼ -1.0

[化学的領域]	平成27年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H27
全国(公立)	56.2	65.0	8.8
埼玉県(公立)	54.1	63.4	9.3
草加市	50.8	60.5	9.7
全国(公立)との差	-5.4	-4.5	○ 0.9
埼玉県(公立)との差	-3.3	-2.9	○ 0.4

[生物的領域]	平成27年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H27
全国(公立)	62.2	72.5	10.3
埼玉県(公立)	61.2	71.6	10.4
草加市	58.2	67.7	9.5
全国(公立)との差	-4.0	-4.8	▼ -0.8
埼玉県(公立)との差	-3.0	-3.9	▼ -0.9

[地学的領域]	平成27年度	平成30年度	対前年度比較
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	H30－H27
全国(公立)	46.4	57.8	11.4
埼玉県(公立)	46.9	56.7	9.8
草加市	45.5	53.9	8.4
全国(公立)との差	-0.9	-3.9	▼ -3.0
埼玉県(公立)との差	-1.4	-2.8	▼ -1.4

[小学校理科]

[物質]

○:差が向上した ▼:差が低下した △:変化なし

	平均正答率(%)	平均正答率(%)	前回調査との差
	H27	H30	H30-H27
全国 (公立)	57.4	59.8	2.4
埼玉県 (公立)	55.9	59.2	3.3
草加市	54.5	57.9	3.4
全国 (公立) との差	-2.9	-1.9	○ 1.0
埼玉県 (公立) との差	-1.4	-1.3	○ 0.1

《指導が必要な項目》

◆ 物を水に溶かしても、全体の重さは変わらないことを理解し、食塩を溶かして退席が増えた

《課題が見られた調査問題》 ☆ 4 (3)

《授業改善の主なポイント》

- ・条件制御についての見方をしっかりと理解させた上で実験に取り組ませる。
- ・条件制御の実験では、他の要因による変化がないよう厳選した実験器具の選定。
- ・結果を整理・分析した上で解釈・考察する場面を作り、深く理解できるような指導改善が必要。

[エネルギー]

○:差が向上した ▼:差が低下した △:変化なし

	平均正答率(%)	平均正答率(%)	前回調査との差
	H27	H30	H30-H27
全国 (公立)	65.6	53.1	-12.5
埼玉県 (公立)	63.5	51.5	-12.0
草加市	58.7	48.6	-10.1
全国 (公立) との差	-6.9	-4.5	○ 2.4
埼玉県 (公立) との差	-4.8	-2.9	○ 1.9

《指導が必要な項目》

◆ 乾電池のつなぎ方を変えると、電流の向きが変わることを実際の回路に適用できる。

《課題が見られた調査問題》 ☆ 3 (1)

《授業改善の主なポイント》

- ・乾電池のつなぎ方と電流の向きが変わることの関係付けについての視点を意識した指導が必要。
- ・実験の必要観をもたせる動機付けや実験結果がいかに問題 (課題) と関連付けられているかの振り返りも大切にし、知識理解を深めるための指導改善が必要。

○:差が向上した ▼:差が低下した △:変化なし

[生命]	平均正答率(%)	平均正答率(%)	前回調査との差
	H27	H30	H30-H27
全国 (公立)	61.2	73.6	12.4
埼玉県 (公立)	59.0	71.5	12.5
草加市	54.9	69.8	14.9
全国 (公立) との差	-6.3	-3.8	○ 2.5
埼玉県 (公立) との差	-4.1	-1.7	○ 2.4

《指導が必要な項目》

◆ 骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している。

《課題が見られた調査問題》 ☆ 1 (3)

《授業改善の主なポイント》

- ・関節という言葉について理解ができていない。指導はしているが習熟していない。
- ・目的意識や必要感をもたせる指導の改善。
- ・実際に見ることができない教材については、教材教具を工夫したり情報機器を活用したりするなど、児童の興味関心をもたせる指導の改善を図る。

○:差が向上した ▼:差が低下した △:変化なし

[地球]	平均正答率(%)	平均正答率(%)	前回調査との差
	H27	H30	H30-H27
全国 (公立)	57.8	49.5	-8.3
埼玉県 (公立)	57.2	48.9	-8.3
草加市	53.7	48.3	-5.4
全国 (公立) との差	-4.1	-1.2	○ 2.9
埼玉県 (公立) との差	-3.5	-0.6	○ 2.9

《指導が必要な項目》

◆ 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。

《課題が見られた調査問題》 ☆ 2 (1)

《授業改善の主なポイント》

- ・条件制御を児童へ意識した実験を行うことで、原因とその結果が明確になるよう指導改善を図る。
- ・視点をもたせる課題設定の仕方の工夫や結果からわかることについての児童の考えを整理するための指導上の改善を図る。

[中学校理科]

○:差が向上した ▼:差が低下した △:変化なし

[物理]	平均正答率(%)	平均正答率(%)	前回調査との差
	H27	H30	H30-H27
全国 (公立)	48.9	74.4	25.5
埼玉県 (公立)	46.7	74.1	27.4
草加市	45.6	72.0	26.4
全国 (公立) との差	-3.3	-2.4	○ 0.9
埼玉県 (公立) との差	-1.1	-2.1	▼ -1.0

《指導が必要な項目》

- ◆ オームの法則を使って抵抗の値を求めることができる。

《課題が見られた調査問題》 ☆ 6 (2)

《授業改善の主なポイント》

- ・問題に対しての無回答も多く、抵抗に対する理解ができていない。
- ・実験をする際は、結果を整理・分析した上で解釈・考察する場面を作り、生徒が深く理解するような指導改善が必要。
- ・見通しを持った予想や、結果考察との比較も意識する授業改善が必要。

○:差が向上した ▼:差が低下した △:変化なし

[化学]	平均正答率(%)	平均正答率(%)	前回調査との差
	H27	H30	H30-H27
全国 (公立)	56.2	65.0	8.8
埼玉県 (公立)	54.1	63.4	9.3
草加市	50.8	60.5	9.7
全国 (公立) との差	-5.4	-4.5	○ 0.9
埼玉県 (公立) との差	-3.3	-2.9	○ 0.4

《指導が必要な項目》

- ◆ 濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる。
- ◆ 炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を比較できる。
- ◆ 化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる。
- ◆ アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身につけている。
- ◆ 発熱パックに入っているアルミニウムが水の温度変化に関係していることを指摘できる。

《課題が見られた調査問題》 ☆2 (2) ☆4 (2) ☆4 (3) ☆8 (1) ☆8 (2)

《授業改善の主なポイント》

- ・質量パーセント濃度の意味、原子記号そのものや実験における化学変化を原子記号で表し方、学習したことが日常生活と結びつけることについてできていない。
- ・実験から生み出された結果が、どのような意味があるのかを理解させる指導改善が必要。
- ・課題設定の工夫や結果を整理し分析した上で解釈考察する場面では、生徒一人ひとりが考える場面を確保する指導改善が必要。
- ・この学習が日常生活にどのように生かされているかが分かる指導も適切に行う指導改善が必要。
- ・粒子の変化を原子記号で表すことについても、実験との関連を付ける指導改善が必要。

○：差が向上した ▼：差が低下した △：変化なし

[生物]	平均正答率(%)	平均正答率(%)	前回調査との差
	H27	H30	H30-H27
全国 (公立)	62.2	72.5	10.3
埼玉県 (公立)	61.2	71.6	10.4
草加市	58.2	67.7	9.5
全国 (公立) との差	-4.0	-4.8	▼ -0.8
埼玉県 (公立) との差	-3.0	-3.9	▼ -0.9

《指導が必要な項目》

- ◆ 神経系についての働きについての知識を身につけている。
- ◆ 植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識を身につけている。

《課題が見られた調査問題》 ☆5 (1) ☆9 (1)

《授業改善の主なポイント》

- ・神経系における伝達の仕組み、植物の蒸散の仕組みについて理解できていない。
- ・実験から、何を学んだかを理解するため、整理分析し、解釈考察する場面を生徒一人ひとりにもたせる場面を設定するとともに、図等を使い、実際の人や植物の体の仕組みへとつなげていく時には、関連付けをしっかりと意識させる指導上の工夫が必要。
- ・導入部分でねらいをしっかりとたせることも大切。
- ・実験結果についての解釈や考察の場面では、実際の人や植物の体の仕組みへの繋がりも途切れさせないための指導上の工夫も必要。

○：差が向上した ▼：差が低下した △：変化なし

[地学]	平均正答率(%)	平均正答率(%)	前回調査との差
	H27	H30	H30-H27
全国 (公立)	46.4	57.8	11.4
埼玉県 (公立)	46.9	56.7	9.8
草加市	45.5	53.9	8.4
全国 (公立) との差	-0.9	-3.9	▼ -3.0
埼玉県 (公立) との差	-1.4	-2.8	▼ -1.4

《指導が必要な項目》

- ◆ シミュレーションの結果について考察した内容を検討して改善し、台風の進路を決める条件を指摘できる。
- ◆ 地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが始まるまでの時間が最も長い観測地点を指摘できる。
- ◆ 緊急地震速報を受けとってから、S波による揺れが始まるまでの時間が最も長い観測地点を指摘できる。
- ◆ 植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる。

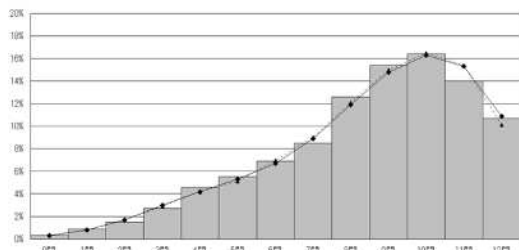
《課題が見られた調査問題》 ☆3 (3) ☆7 (1) ☆7 (2) ☆9 (2)

《授業改善の主なポイント》

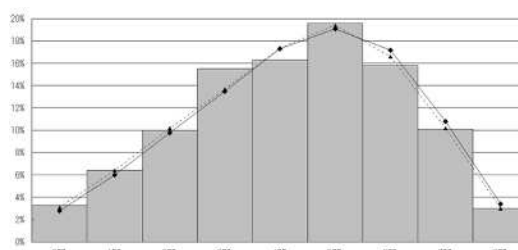
- ・台風の進路のきめる条件は何か、地震の仕組みやP波とS波の関係、湿度と気温との関係が理解できていない。
- ・実際に実験を行うことはなく、気象では、天気図や上空の風の流れの図、地震では地震波の図を比較検討しながら、整理分析し、解釈考察する場面では、児童一人ひとりがじっくり考えらるような指導の改善が必要。
- ・気象や地震は生活と大変密着しており、生徒の興味関心を高やすい教材である。興味関心を高める工夫や、学習から学んだことを生活で生かせる機会を作る等の指導の改善も必要。

- ◆ 国語は、小学校は全国及び埼玉県と比較し、正答数の分布はほぼ同等であるが、中学校で正答数が多い生徒の割合が低く、正答数が少ない生徒が高くなっている。
- ◆ 算数・数学は、全国及び埼玉県と比較し、A問題は正答率の多い児童生徒の割合が低く、B問題は、正答率の低い児童生徒の割合が高い。
- ◆ 理科は、全国及び埼玉県と比較し、正答率が多い児童生徒の割合が低く、正答率が低い児童生徒の割合が高い。

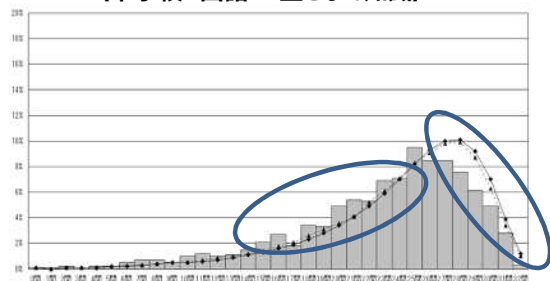
[小学校 国語A:主として知識]



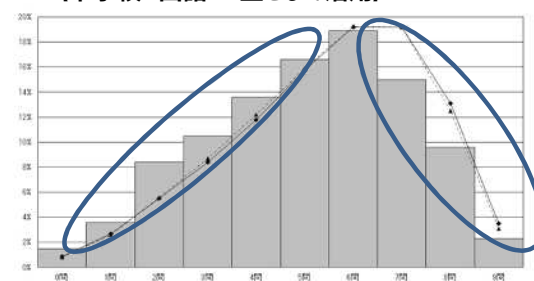
[小学校 国語B:主として活用]



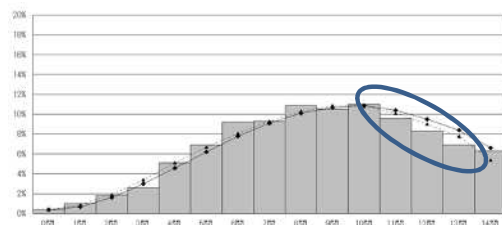
[中学校 国語A:主として知識]



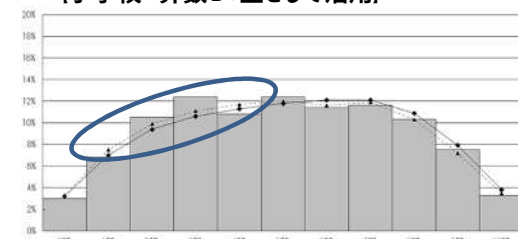
[中学校 国語B:主として活用]



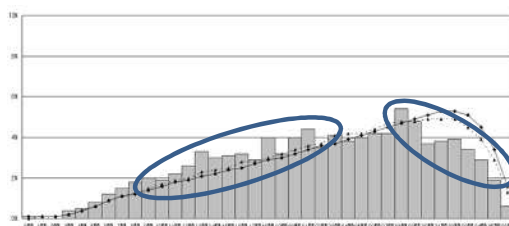
[小学校 算数A:主として知識]



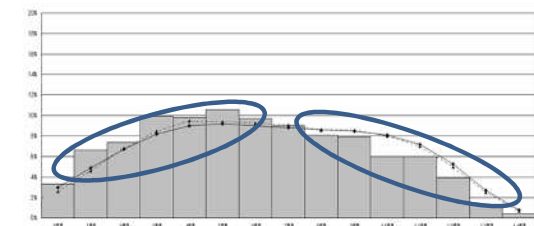
[小学校 算数B:主として活用]



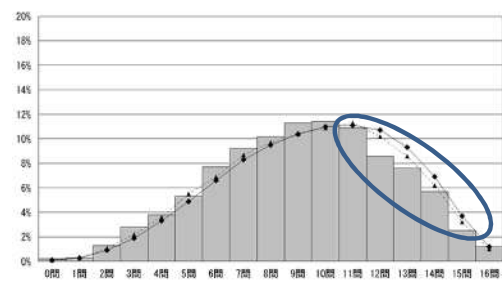
[中学校 数学A:主として知識]



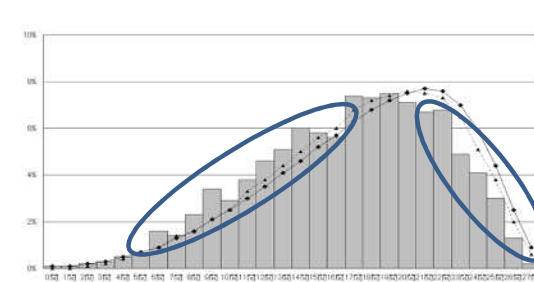
[中学校 数学B:主として活用]



[小学校 理科]



[中学校 理科]



(横軸:正答数,縦軸:割合)

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について

[生活習慣や学習環境等に関する調査結果] (児童生徒質問紙調査)

国立教育政策研究所の分析によると、次の「◎」に示す児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向がみられます。関連する質問事項への回答を数値 (%) で示しました。

☆教科・授業

◎理科、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
理科の勉強は好きですか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	83.9	84.2	83.5
		中	51.2	61.6	62.9
理科の勉強は大切だと思いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	87.8	86.3	85.4
		中	68.6	72.4	70.6
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ と思いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	75.8	74.8	72.9
		中	51.4	58.2	55.7
今回の理科の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、 どのように解答しましたか	全ての問題の書く 問題で最後まで書 こうと努力した	小	79.2	79.5	77.3
今回の理科の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、 最後まで解答を書こうと努力しましたか	全ての問題の書く 問題で最後まで書 こうと努力した	中	59.2	62.9	62.8
算数・数学の勉強は好きですか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	60.9	64.6	64.0
		中	50.1	54.0	53.9
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思 いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	75.6	76.4	74.3
数学ができるようになりたいと思いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	中	89.5	91.7	92.5
算数・数学の勉強は大切だと思いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	93.2	92.7	92.1
		中	82.9	85.3	83.6
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役 に立つと思いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	90.5	90.7	90.3
		中	71.8	74.0	72.9
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め 方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	全ての問題の書く 問題で最後まで書 こうと努力した	小	72.6	72.9	70.6
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明 する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	全ての問題の書く 問題で最後まで書 こうと努力した	中	51.8	55.9	55.5

☆主体的・対話的で深い学びの視点

◎自分の意見や考えをまとめて、発表する

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考 え、自分から取り組んでいたと思いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	81.9	82.6	76.7
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自 分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工 夫して発表していたと思いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	66.1	67.6	61.0
1, 2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを 工夫して発表していたと思いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	中	54.1	61.1	53.8
1, 2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で 考え、自分から取り組んでいたと思いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	中	74.3	80.0	73.8

◎他者との話し合い活動で、自分の考えを深めたり広げたりする

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	79.8	81.2	77.7
生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	中	74.3	80.6	76.3

☆家庭学習・読書

◎学校の授業時間以外での学習時間が長い

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）	1時間以上	小	62.5	66.5	66.2
		中	72.5	74.2	70.6

◎自分で計画を立てて勉強をする

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	している どちらかといえば している	小	69.2	71.2	67.6
		中	55.8	56.9	52.1

◎学校の宿題、授業の予習・復習をする

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
家で、学校の宿題をしていますか	している どちらかといえば している	小	98.0	98.0	97.1
		中	89.2	91.1	91.6
家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	している どちらかといえば している	小	67.7	69.8	62.6
		中	58.0	60.3	55.2

◎読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	1時間以上	小	20.8	20.5	19.3
		中	14.3	16.0	14.8

☆基本的生活習慣

◎朝食を毎日食べる

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
朝食を毎日食べていますか	している どちらかといえば している	小	95.8	95.4	94.5
		中	92.0	92.6	91.9

◎毎日、同じくらいの時刻に寝る

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	している どちらかといえば している	小	81.7	80.7	77.0
		中	74.3	77.5	74.2

☆家庭でのコミュニケーション等

◎家の人と学校での出来事について話をする

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	している どちらかといえば している	小	84.5	84.2	80.5
		中	75.7	78.9	76.0

☆社会に対する興味・関心

◎地域や社会で起きている問題や出来事に関心がある

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
地域や社会で起きている問題や出来事に関心がありますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	61.9	65.3	63.8
		中	49.4	58.3	59.3
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	51.4	53.2	49.9
		中	35.2	40.9	38.7
地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	当てはまる	小	19.9	31.1	36.1
		中	25.3	53.0	51.8

◎新聞を読んでいる

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
新聞を読んでいますか	週に1回以上	小	16.4	18.0	19.9
		中	9.6	12.7	13.9

◎テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	よく見る 時々見る	小	87.3	87.9	86.2
		中	85.8	88.3	86.6

☆自尊意識・規範意識

◎自分には、よいところがある

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
自分には、よいところがあると思いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	80.4	82.1	84.0
		中	69.8	76.0	78.8

◎いじめは、どんな理由があってもいけない

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	95.9	96.6	96.8
		中	94.6	95.2	95.5

◎人の役に立つ人間になりたい

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	94.0	94.8	95.2
		中	93.0	94.3	94.9

◎学校のきまり・規則を守っている

質問事項	回答		草加市	埼玉県	全国
学校のきまり・規則を守っていますか	当てはまる どちらかといえば 当てはまる	小	93.8	93.5	89.5
		中	96.4	96.3	95.1

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について [児童生徒質問紙調査]

[小学校]

質問事項	全国		埼玉県		草加市	
	H29	H30	H29	H30	H29	H30
1 毎日朝食を食べている	95.4	94.5	96.5	95.4	96.2	95.8
2 自分にはよいところがある	77.9	84.0	79.8	82.1	78.2	80.4
3 学校のきまりを守っている	92.6	89.5	95.1	93.5	95.7	93.8
4 家で自分で計画を立てて勉強している	64.5	67.6	70.3	71.2	68.6	69.2
5 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある	63.9	63.8	66.1	65.3	61.7	61.9
6 算数の勉強は好きだ	65.9	64.0	65.2	64.6	61.3	60.9
7 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ	89.1	90.3	90.5	90.7	90.5	90.5
8 理科の勉強は好きだ	—	83.5	—	84.2	—	83.9
9 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	—	72.9	—	74.8	—	75.8

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合 (単位は%)

[中学校]

質問事項	全国		埼玉県		草加市	
	H29	H30	H29	H30	H29	H30
1 毎日朝食を食べている	93.2	91.9	94.1	92.6	93.4	92.0
2 自分にはよいところがある	70.7	78.8	72.3	76.0	66.8	69.8
3 学校の規則を守っている	95.2	95.1	96.3	96.3	96.9	96.4
4 家で自分で計画を立てて勉強している	51.5	52.1	55.1	56.9	55.0	55.8
5 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある	59.2	59.3	57.2	58.3	52.9	49.4
6 数学の勉強は好きだ	55.4	53.9	54.4	54.0	50.6	50.1
7 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ	72.4	72.9	74.4	74.0	72.8	71.8
8 理科の勉強は好きだ	—	62.9	—	61.6	—	51.2
9 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	—	55.7	—	58.2	—	51.4

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合 (単位は%)